

舗装構成（層割）の見直しによるコスト縮減

事業名： 松山空港誘導路改良工事（その2）

概要： 【従来】 表層4cm嵩上げ → 【新】 表層4～8cm嵩上げ

効果

○表層の嵩上高を4cmに設定し、4cmより厚くする必要がある範囲は基層を設けて2～3層施工になるように設計していた。それを表層の嵩上高を4～8cmに設定することで、表層1層で施工できる範囲をできるだけとり、8cmより厚く嵩上げする範囲のみ2層施工にすることでコスト縮減を図った。

■工事費を1.14億円から1.13億円に縮減

（縮減額0.01億円、縮減率約0.9%）

